2018年1月号「Vol.91」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

明治維新150年の今年を近代化や文明について考える機会にしては

日本では今年、明治維新150年を迎えます。日本が西洋の技術や思想、制度を採り入れて近代化し、今日の先進国に発展する源流となったのが明治維新。今年をこうした近代化の歩みと文明のあり方について考えてみる機会にしてみてはどうかと思います。神奈川県は東京に隣接していることから、明治以降、政財界文化の要人の別荘などが多く、県では今年、これらを活用した観光の振興を計画しています。また国際協調に大きな意味を持つスポーツ大会として日本では2019年にラグビーW杯大会、2020年には東京オリンピックが開かれ、県内でも一部の試合・競技が行われますが、県では今年、準備作業に拍車をかけます。私も一体となってこれらの促進を後押ししていきたいと思います。

この1年間に発行しました「磯っ子レポート」をまとめました。

2017年2月号（Vol.80）

19カ所に施設を開設、ブランド品6点を開発
神奈川県が未病対策の取り組みを始め3年

県が進めている「未病を改善」する取り組みは、未だ県民の中に浸透しているとは言えません。未病ブランドに認定した商品や未病センターをもっと周知すると共に、今後も商品や未病センターの認定を増やし、未病と言う言葉が県民の目に触れる場を増やし未病の概念を知ってもらう必要があります。

2017年3月号（Vol.81）

「貯金」捻出で税収減カバー、攻めの姿勢継続
神奈川県が2017年度当初予算案を提案

平成28年9月の一般質問で「県内の美術館・博物館を活用した観光施策」について質問した事により、平成29年度当初予算の民間事業者と連携した国内観光客誘致促進事業で実施される事となりました。また平成29年度より、県が負担していた政令市教職員人件費2192億円を政令市が負担し、その財源として県から政令市に1476億円の税交付金を交付することとなり、ねじれの解消がなされました。

2017年4月号（Vol.82）

子ども・子育て支援、ラグビーW杯・東京五輪など促進
神奈川県議会県民・スポーツ委関係の予算

子どもの貧困や虐待、待機児童問題などは喫緊の課題であり、引き続き対策を講じていく必要があります。また、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される本県には多くの観光客が来訪する事が予想されます。国際交流や文化芸術振興を所管する県民局とスポーツ局の両局が連携し、予算以上の効果をあげる事を期待します。

2017年5月号（Vol.83）

防災、レクリエーション、学習の拠点に
堀割川べり親水施設の整備内容決定

かねてより、堀割川魅力づくり実行委員会が中心となって親水施設整備の要望が出されており、漸くイメージ図が出来ました 。今回の完成イメージ図の施設内容等は、今後横浜市や地域の方々との協議によって細部が変更する事も有り、地域の特色を備えた施設が整備されるためにも、地域の方々の意見が反映されるよう進めてまいります。

2017年6月号（Vol.84）

都市農業対策やエコ10の推進などに着目
今期は環境農政部門の常任委員会に所属

「水源環境保全・再生への取組み」では個人県民税の超過課税等を財源とする水源環境保全計画も今年度から第3期を迎えます。使途を明確にすると共に、良質で安定的な水の供給のための取組が確実に進む様計画の進捗状況をチェックしていきます。また、社会問題対策特別委員会では子どもの健全育成、高齢者支援、地震・災害対策や交通安全対策など幅広い事項を審議していきます。

2017年7月号（Vol.85）

新たに森林の崩壊地対策等も実施
県の第3期水源環境保全・再生事業

現在、国では個人住民税に上乗せする形で課税する「森林環境税（仮称）」の創設を検討しています。しかし、県では既に「水源環境保全税」を設けており、重複課税になる恐れがあります。人口減少や過疎化が進む山間部の市町村では森林整備に十分な財源が確保出来ず、間伐などの手入れが行き届かず、森林の荒廃が進んでいる事から新税の創設は必要と考えますが、地方自治体の実情にあった税の仕組みを検討するよう強く要望していきます。

2017年8月号（Vol.86）

県が保全・整備に努める三浦半島「小網代の森」
源流域から干潟・磯まで…楽しめる多様な自然

2016年の小網代の森の年間利用者は45,000人。目標値115,000人の約40%程しか達成していません。三浦半島の他の観光地や観光資源と連携を図りながら、小網代の森の魅力を高めて行くべきです。現在、小網代の森には仮設トイレしか有りません。観光地のリピーターを増やすにはトイレの改善は重要であると考え、我が会派の提案により今年度中にトイレ整備も行われます。

2017年9月号（Vol.87）

災害に備えての情報盛った冊子を作り配布
神奈川県でさまざまな防災対策事業を実施

磯子区で2年毎に行っている区民意識調査(H27年度版)では、66%の方が「地域の防災訓練に参加すること」は重要であると回答しているものの、「出来ている」と答えたのは18%に留まっています。災害時には、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要ですので、地域のみなさんが助け合って災害を防ぐよう、日頃から地域で行われる防災訓練に参加する事が大切です。

2017年10月号（Vol.88）

明治以降の著名人の元別荘などが会場
地域性活かした湘南邸園文化祭開催中

2018年は明治150年となる事から、明治以降の歩みを次世代に遺すことや、明治の精神に学び日本の強みを再認識するため、国は「明治150年」に向けた関連施策を推進します。その施策の一つとして、大磯町にある旧伊藤博文邸「滄浪閣」を中心とする建物や緑地を「明治記念大磯邸園」として整備することが検討されています。邸園文化を広く発信する機会となるため、国や町とともに取り組みを進める必要があります。

2017年11月号（Vol.89）

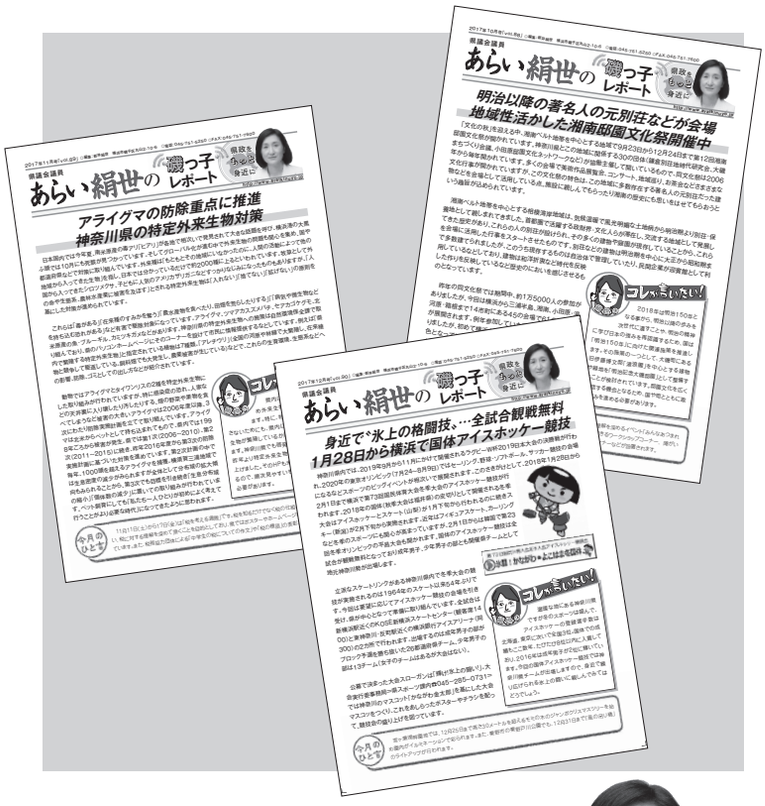
アライグマの防除重点に推進
神奈川県の特定外来生物対策

県内には、動物・植物を含め外来生物は多く生息しています。特に、特定外来生物を増やさないためにも、県内にどの様な特定外来生物が繁殖しているか周知する必要があります。神奈川県でも啓発活動の一環として、昨年より特定外来生物に関するHPを立ち上げました。そのHPも未だ不十分な点もあるので、順次見やすいものに修正を加える必要があります。

2017年12月号（Vol.90）

身近で〝氷上の格闘技〟…全試合観戦無料
1月28日から横浜で国体アイスホッケー競技

温暖な地にある神奈川県ですが冬のスポーツは盛んで、アイスホッケーの登録選手数は北海道、東京に次いで全国3位。国体での成績もここ数年、たびたび8位以内に入賞しており、2016年は成年男子が2位に輝いています。今回の国体アイスホッケー競技では神奈川県チームが出場しますので、身近で繰り広げられる氷上の闘いに親しんでみてはどうでしょう。



あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱／㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成27年4月　県議会議員2期目当選
- ●環境農政常任委員会副委員長
- ●社会福祉審議会委員
- ●社会問題対策特別委員会副委員長
- ●政務調査会副会長

✉ あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600